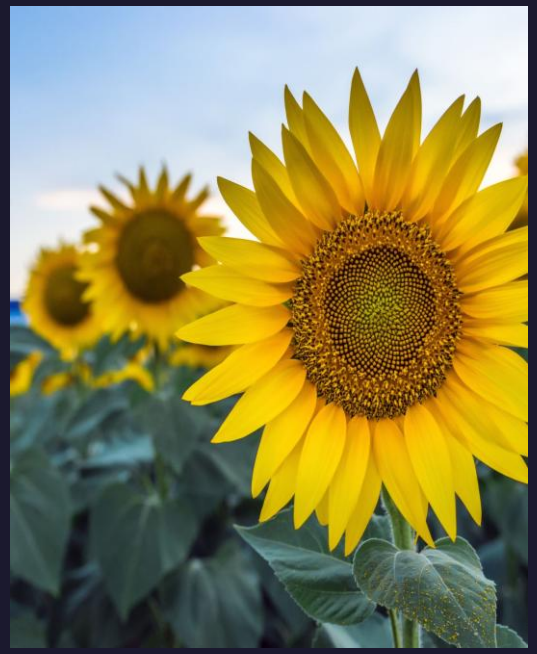
地域のすべての子どもの安全基地を
「地域の学校」に



今こそ大人のみんなで「みんなの学校」をつくりましょう

新潟県小中学校PTA阿賀野大会
2026.10.24　木村泰子

みんながつくる　みんなの学校

2006年開校



「みんなの学校」とは（全国のパブリックの学校の代名詞）

パブリックの学校の理念「最上位の目的」

「すべての子どもの学習権を保障する」

（憲法第26条）

合理的配慮を受けながら合理的排除された子どもの声

■何をしても怒られた
■「特別な子」としてしか見てもらえなかった
■みんなといっしょに遊びたかったけどいつもいじめられた
■自分は迷惑をかける悪い子なんだ
■迷惑をかけるだけだから、どうせ学校に行ってもいやな思いをするだけだから行かない方がまし
■大人なんて誰一人信用できない
■学校は牢獄だ
■特別支援学級は「独房」（不穏に孤立した部屋）
■空気が吸えない

排除された子どもの周りの子どもたちの声

■自分も排除されないようにがんばる
■あの子は自分とは違う格下の存在＝「特別」
■先生がいる前は我慢するが、本当はいない方が平和だ
■すぐに切れるし、大声で叫ぶし、迷惑だ
■がんばろうとしないので、人の役に立たない
■自分は「特別な子」でなくてよかった
■先生がいつもその子を怒るので教室が怖くて学校に行けない
■学校に行く意味を見つけられない
■みんながその子をいじめる空気が苦しい

自殺「不登校」いじめ　過去最多

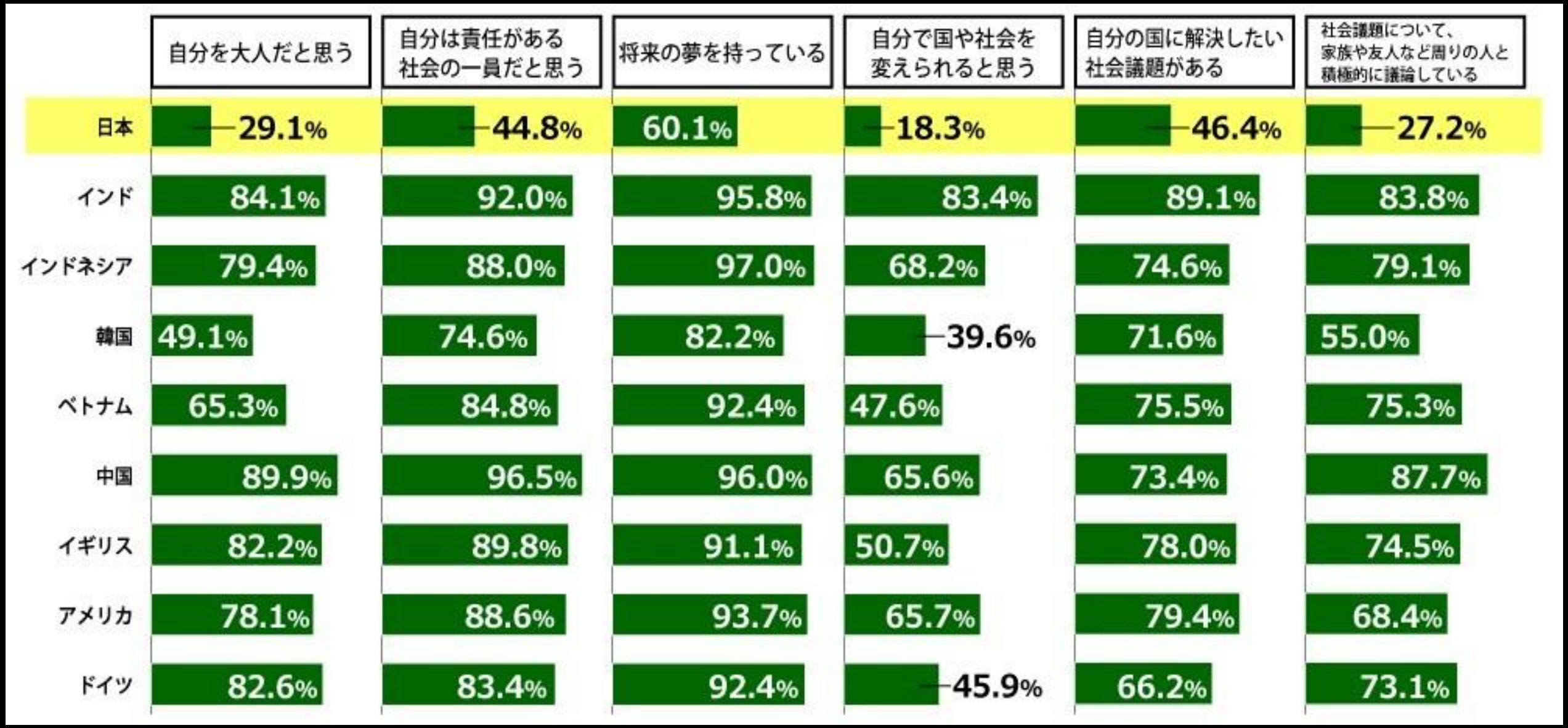
特別支援学級・学校在籍　過去最多

教員の休職・退職　過去最多

日本の学校教育が抱える最大の課題

「主体性」と「当事者性」の欠如

若者（18歳）の「国や社会に対する意識」



日本財団「18歳意識調査」

2019.11

「主体性」と「自主性」は異なる

与え続ける教育

主体性のなさ　　当事者意識のなさ

幸福度の低さ　　自己肯定感の低さ

申し訳ない・・・



どんな未来を
つくりたいですか

どんな子どもが
育ってほしいですか



未来をつくるすべての子どもに不可欠な学力

「自立」から「自律」へ

「自律する力」

自分で考え　判断し　決定し　行動する

失敗したらやり直す

やり直せば成功体験に変わる

人のせいにしない責任

自律とは「互いが適切に依存し合う」こと

誰一人置き去りにしない社会をつくる大人になるために

「子どもまんなか」を
うたっている社会なのに

どうして
「子どもまんなか」の
学校づくりが
できないのでしょう



大人が手をつないでいない

子どものまんなかに
「困っている子」がいない

「学校観」を変える

学校は

「ある」ものではなく「つくる」もの

子どもが自分の学校を自分がつくる

保護者が自分の子どもの学校を自分がつくる

地域の人が、地域の宝が学ぶ地域の学校を自分がつくる

教職員が自分の働く学校を自分がつくる

「みんなの学校」

自分がつくる自分の学校

すべての人が当事者になる

人のせいにしない学校づくり

「大人のチーム力」で子どもを育む

保護者・地域住民・教職員

すべての人が学校をつくる当事者に

学校をつくる当事者として

1．「保護者」を「サポーター」に

2．「文句」を「意見」に変える

「地域の学校」

地域住民は「土」

教職員は　「風」

持続可能な「みんなの学校」づくり

連携【Give＆Take】自主性　から

融合【Win＆Win】主体性　へ

「地域の学校」

教職員の力と地域の力を融合する

「できる人が　できるときに
無理なく　楽しく」を合言葉に

子どもと地域の人が顔を知り
名前を呼びあえる関係に

教員は「授業を開く」

地域のすべての子どもの
「安全基地」

「スーツケースから」
「ふろしき」の学校に

地域の宝を
「地域の力」ではぐくむ

学校が変われば地域が変わる
地域が変われば社会が変わる

みんながつくる
みんなの学校
大空小学校は
学校と地域が共に学び
共に協力しあいながら
「地域に生きる子ども」を
育てている学校です。

インターホンを鳴らして
お入りください。
なおこの目的に反する人は、
入校をご遠慮ください。

地域の学校　大空小学校
学校長　教職員スタッフ
大空ＳＥＡ
大空はぐくみネット
大空パトレンジャー

おばちゃんがオレの

母さんやったら

かなしくない？





「たった一つの約束」

自分がされていやなことは人
にしない　言わない

気づいたら自分のために
やり直しをする

見えない「4つの力」



人を大切にする力

自分の考えを持つ力

自分を表現する力

チャレンジする力

自己評価＝「メタ認知能力」が習慣化

「見えない学力」を優先すると「見える学力」は
結果として向上する

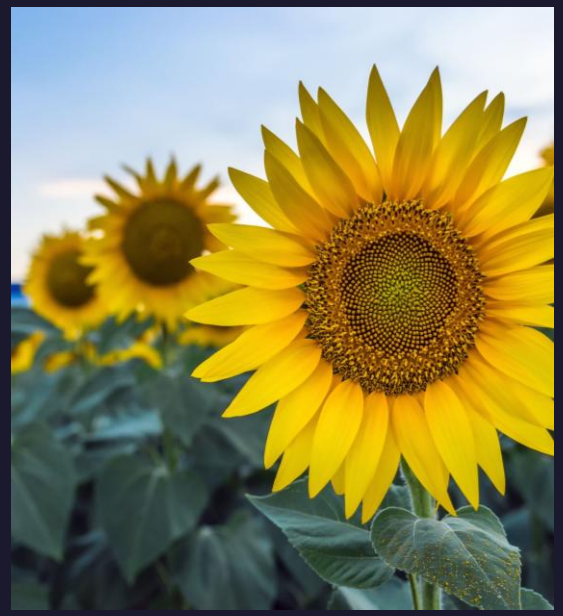
自分のことは自分が決める！

大人が「4つの力」をつける

大人のプライドは

「困る子」をつくらない

「困っている子」が困らなくなる
「空気」をつくるために



「だいじょうぶ？」

「何に困ってるの？」

「私にできることある？」

そっとそばにいるだけでOK!

「みんなの学校」をつくるために

大人に不可欠な力はたった一つ

「人の力を活用する力」

働き方改革は職員室改革

「職員室」はすべての「人」の

「安全基地」

弱みを吐き出せる職員室に



未来は誰もわからない

子どもと学びのパートナーに

学校と子育てのパートナーに

地域の人たちと学校づくりのパートナーに

大人たちが
いつも手をつないで
笑っている

やり直しの自由が
保障されている

ほんとのことを言える
大人がいる

学校は困っている子の
最後の砦



無意識の偏見

子どもの「ほんとの声」を聴かせてもらえる大人に